

定期調査一覧表  
秋田県果樹試験場(本場)

(令和元年7月16日現在)

樹種	品種	項目	計測値			対比(%)	
			本年	平年	前年	平年	前年
リンゴ	つがる	果重(g)	126.8	98.0	84.6	129%	150%
		縦径(cm)	5.94	5.43	5.07	109%	117%
		横径(cm)	6.77	6.14	5.68	110%	119%
	やたか	果重(g)	97.2	96.8	91.0	100%	107%
		縦径(cm)	5.24	5.46	5.39	96%	97%
		横径(cm)	6.15	6.08	5.87	101%	105%
	王林	果重(g)	99.9	86.3	74.0	116%	135%
		縦径(cm)	6.11	5.80	5.36	105%	114%
		横径(cm)	5.91	5.48	5.13	108%	115%
	ふじ	果重(g)	84.0	69.8	64.5	120%	130%
		縦径(cm)	5.28	4.88	4.68	108%	113%
		横径(cm)	5.85	5.40	5.15	108%	114%

※平年値:平成21年~30年(10か年)の平均値。

◎リンゴの果実径は、いずれの品種も平年並みから平年を上回る状況で推移している。

定期調査一覧表  
秋田県果樹試験場(本場)

(令和元年7月16日現在)

樹種	品種	項目	計測値			対比(%)	
			本年	平年	前年	平年	前年
モモ	あかつき	縦径(cm)	5.53	5.42	4.52	102%	122%
		横径(cm)	5.77	5.67	4.66	102%	124%
		側径(cm)	5.44	5.25	4.57	104%	119%
	川中島白桃	縦径(cm)	5.05	5.05	4.69	100%	108%
		横径(cm)	5.20	5.18	4.84	100%	107%
		側径(cm)	4.76	4.78	4.40	100%	108%
ブドウ	キャンベル・アーリー	新梢長(cm)	289.9	263.4	299.4	110%	97%
		展葉数(枚)	24.2	22.7	24.6	107%	98%
		果穂長(cm)	17.1	17.8	19.7	96%	87%
	スチューベン	新梢長(cm)	276.5	215.5	254.0	128%	109%
		展葉数(枚)	22.5	20.8	22.2	108%	101%
		果穂長(cm)	18.1	19.2	20.0	94%	91%
	巨峰(有核)	新梢長(cm)	239.9	171.6	225.2	140%	107%
		展葉数(枚)	23.2	20.4	22.5	114%	103%
		果穂長(cm)	25.0	23.7	23.6	105%	106%
	巨峰(無核)	新梢長(cm)	259.4	244.3	260.5	106%	100%
		展葉数(枚)	26.1	24.9	26.5	105%	98%
		果穂長(cm)	29.2	28.1	25.1	104%	116%
	シャインマスカット	新梢長(cm)	247.0	153.1	213.4	161%	116%
		展葉数(枚)	21.2	15.6	18.3	136%	116%
		果穂長(cm)	37.8	33.2	35.5	114%	106%

※平年値 :モモ‘あかつき’は平成21～27年および30年(8か年)の平均値。

‘川中島白桃’は平成21～30年(10か年)の平均値。

:ブドウは‘巨峰(無核)’を除き、平成21～30年(10か年)の平均値。

:ブドウ‘巨峰(無核)’は平成23～30年(8か年)の平均値。

◎モモの大きさは平年並である。なお、硬核指数3の到達日(新梢整理と摘果を再開できる時期)は、‘あかつき’で7月3日、‘川中島白桃’で7月4日で、平年より1週間ほど早かった。このため、早生種の収穫期は平年より5～7日程度早まる見込みである。

◎ブドウは、平年より展葉枚数が多く、新梢も長い。果穂の大きさは、‘巨峰’、‘シャインマスカット’は平年より大きく、‘キャンベルアーリー’、‘スチューベン’は平年並みである。

定期調査一覧表  
秋田県果樹試験場(天王分場)

(令和元年7月16日現在)

樹種	品種	項目	計測値			対比(%)	
			本年	平年	前年	平年	前年
日本ナシ	幸水	縦径(cm)	3.50	3.54	3.24	99%	108%
		横径(cm)	4.10	4.16	3.77	99%	109%
	豊水	縦径(cm)	3.89	3.63	3.72	107%	105%
		横径(cm)	4.15	3.84	3.82	108%	109%
	あきづき	縦径(cm)	3.31	3.45	3.22	96%	103%
		横径(cm)	3.64	3.83	3.43	95%	106%
	秋泉	縦径(cm)	4.84	4.78	4.78	101%	101%
		横径(cm)	4.52	4.55	4.35	99%	104%

※平年値：平成21～30年(10か年)の平均値。

◎ニホンナシの果実肥大は、気温が高く日照量も多かったことから、7月1日調査時と比較して平年比が増大し、平年並みからやや大きく推移している。

定期調査一覧表  
 かつの果樹センター（旧 鹿角分場）

（令和元年7月16日現在）

樹種	品種	項目	計測値			対比(%)	
			本年	平年	前年	平年	前年
リンゴ	秋田紅あかり	縦径(cm)	5.48	4.96	5.35	110%	102%
		横径(cm)	5.90	5.36	5.58	110%	106%
	王林	縦径(cm)	5.94	5.57	5.66	107%	105%
		横径(cm)	5.63	5.15	5.27	109%	107%
	ふじ	縦径(cm)	4.76	4.73	4.73	101%	101%
		横径(cm)	5.37	5.01	5.01	107%	107%
モモ	あかつき	縦径(cm)	4.95	4.96	4.71	100%	105%
		横径(cm)	4.74	5.01	4.72	95%	100%
		側径(cm)	4.90	4.80	4.54	102%	108%
	川中島白桃	縦径(cm)	5.15	4.92	4.76	105%	108%
		横径(cm)	4.60	4.90	4.73	94%	97%
		側径(cm)	5.08	4.47	4.27	114%	119%

※平年値：平成21年～30年（10か年）の平均値。

◎リンゴの果実肥大は、平年並みからやや大きい。

◎モモの果実肥大は、概ね平年並からやや大きい。

◎モモの硬核期は、指数2.5到達日が‘あかつき’で7月15日（平年±0日）、‘川中島白桃’で7月15日（平年－3日）であったため、硬核指数3到達日は‘あかつき’では平年並み、‘川中島白桃’ではやや早くなる見込みである。